

新 子どもかがやきプラン アクションプラン 2018

地域と共に創る 新たな学びのスタイル

- ◆平成29年3月に策定した「新 子どもかがやきプラン」に基づき、平成30年度に取り組む施策を示しました。
- ◆インクルーシブ教育システムの構築に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じて、地域の多様な学びの場を柔軟に活用できる新たな「学びのスタイル」づくりに取り組みます。
- ◆そのための基盤となる、新たな「学びの場」の整備に取り組みます。



重点施策1 県内各地域に高等特別支援学校機能を整備します

施策内容

- 平成30年4月に西濃高等特別支援学校を開校します。
- 可茂地域の高等特別支援学校の早期開校を目指し、整備地を検討します。

整備スケジュール

地域	学校名・整備方法	定員 (1学年)	整備スケジュール					
			H29	H30	H31	H32	H33	H34
岐阜	岐阜清流高等特別支援学校	48人 6学級	開校					
西濃	西濃高等特別支援学校	24人 3学級		開校				
可茂	県立学校の余裕教室を活用して整備	16人 2学級 (想定)		整備地 検討				最速でH33開校 を目指す

- 特別支援学校高等部において、生徒の実態に即した新たな作業コースの開発に着手します。

重点施策2 障がいのある児童生徒のニーズに対応した学びの場を整備します



施策内容

- **高等学校において、「少人数コミュニケーション講座」を充実します。**
 - ・ 不破高等学校(自校型)、華陽フロンティア高等学校通信制(他校型)の2校において、少人数コミュニケーション講座を本格的に開始します。
 - ・ 東濃高等学校(自校型)において、平成31年度の実施に向けて、教育課程への位置付けや指導内容の開発等の準備に取り組みます。他地域についても、設置に向けた検討を進めます。
- **小学校→中学校→高等学校の一貫した支援体制のモデルを構築します。**
 - ・ 指定した研究地区において、生徒の状況や支援内容を確実に引き継ぐためのシステムづくりに取り組み、成果を県内に広げます。
 - ・ 高等特別支援学校2校において、中学校の生徒や保護者を対象とした進路説明会を開催し、高等特別支援学校や高等学校等の特色について情報を提供します。
- **多様なニーズに応じた学びの場を研究します。**
 - ・ 病気やけが等により長期に入院している児童生徒の学習支援体制の整備に向けて、子どもや保護者のニーズを踏まえつつ、復学支援の在り方や遠隔授業等の研究に取り組みます。
- **特別支援学校の学習環境を整備します。**
 - ・ 岐阜清流高等特別支援学校でコミュニティ・スクールの取組を開始します。また、その他の特別支援学校への導入についても検討を行います。
 - ・ 郡上特別支援学校の2校舎体制による通学等の不便さを解消するため、スクールバスを増車します。また1校舎体制についても検討を進めます。
 - ・ 近接する中濃特別支援学校と関特別支援学校の今後の在り方についての方向性を示します。
 - ・ 寄宿舍の今後の在り方についての方向性を示します。

重点施策3 学びの場を支える教員の専門性を向上します



施策内容

- **コア・スクールにおける専門領域に基づいて、コア・ティーチャーによる特別支援学校等に対する支援方法に関する指導助言や研修講師等の取組を推進します。**
※コア・スクール：岐阜盲学校(視覚障がい)、岐阜聾学校(聴覚障がい)、長良特別支援学校(病弱)、岐阜希望が丘特別支援学校(肢体不自由)、岐阜清流高等特別支援学校(軽度知的障がい)の5校
- **「少人数コミュニケーション講座」の担当教員が発達障がい支援に関する実践力を高め、コア・ティーチャーとして地域の学校へ支援を行います。**